

# Okahata

## NEWS LETTER

vol.39

お世話になりました。

2024  
2025

岡畑興産は  
**人と組織のフィット**を  
「今ちょうど」よく。

Which type are you?



### 自分を知る4タイプ分類

↑24年に読んだベスト本「Scaling People」/ Claire Hughes Johnson (Stripe Press) から引用。著者によると、人のタイプは、この2軸 (Task~People、内向的~外向的)、4タイプ (Analyzer、Director、Promoter、Collaborator) に収斂。

人と組織のフィットで言いたかったのは、仕事やチームの相性を過小評価しちゃうダメ (ミスマッチは意外に多いぞ) ということなのですが、自分のタイプを知ること、補い合えることは見えてくる。冬休みのお遊びとして、(腕より始めよ) まずは「デフォルトの自分」を知ってみるのもご一興!

ページ4 [ [泣いて馬鹿を斬る、4タイプ解説について](#) ] に続く。

# 202503 RE:OKAHATA アイデアが生まれ、重なる場所。

## 3月、シン・本社に戻ります!

ここでしか言えないこと、生まれないアイデアやアウトプットがある。  
そんな環境を整えるべくスタートした本社の大リノベーションが、  
およそ9ヶ月を経て2025年早春、完成します。

皆さんがわざわざ足を運んじゃう、ふと寄りたくなる、  
シン・本社へ、ぜひお立ち寄りください。

(詳しくは、次号ONL40の特集記事をお楽しみに)



組織と空間のフィット

### Collaboration

### 岡畑興産の

働く場所は  
生きる場所

### Lounge

AISO :  
Music  
for  
Okahata

本まみれ

Big Sofa

ガードよ、  
下がれ

ココヨにキクヨ

### Shoedog Workshop

### Focus

## 2025年、始動。

固定概念を疑え

大阪在住ミッドセンチュリー好きデノマークト

サクッと相談ツール

# 本社

## 最近の岡畑興産

ONL38「浚渫から土木」でご紹介した離型剤。  
**自社企画**で現場に入って、  
効果測定やっちゃいました。

土砂付着や騒音の抑制、清掃負荷軽減等々、かなりスゴい

- ▶ 完全水系離型剤のルナフローを土木分野に応用! ▶movie  
バックホーや地味土の土地等々、ご協力いただいたのは、  
大西農園種苗場 [Link](#) さま、ありがとうございました。

最近の熱い人々、と、  
“人と組織のフィット”その後。

- ▶ 菅成美さんインタビュー [Link](#) **HOT!**  
岡畑興産初の女性営業社員が語る、  
「育休復帰の先駆者」の働き方
- ▶ 弊社営業に1日密着シリーズ  
田中さん(フットウェア) [Link](#) 川野さん(化学品) [Link](#)

2月、PCHi2025(広州)-中国化粧品原料展に  
ブースを出します! [Link](#)

岡興上海、岡畑興産、岡畑コリアが総力結集。

フィリピン語学留学制度、復活。

時安さんが2月からマニラのEnderun Colleges へ。

Okahata India、立ち上げます。

上海、ポートランド、ソウルに駐在員を送り出した次の一手は、  
なんとインド。詳細はまた別途。

### 最近の化学品(岡畑興産ブログ) by 萩田

新商材と周辺情報をぞくぞく投入中!

#### [機能材]

- 古くて新しい(?),イセチオン酸! [Link](#)
- 鉄バクテリアとは?(売り物ではありません・笑) [Link](#)

#### [化粧品]

- オリーブ果実油とは? [Link](#)
- ラウラミドプロピルベタインとは? [Link](#)

### 最近のくつナビ by 米本

足の健康にも役立つ情報が満載!

- ベアフットシューズで得られる効果とは? [Link](#)  
メリットや注意点もご紹介
- コンフォートシューズとは? [Link](#)  
タイプ別におすすめもご紹介
- テンセル繊維についてご紹介! [Link](#)  
特徴やメリット・デメリットも確認
- モノマテリアルとは? [Link](#)  
メリットや今後の課題も確認しよう

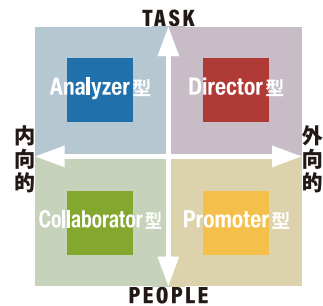
## ▼表紙解説／社長による 4タイプ解説と、泣いて馬鹿を斬る

成果が出ない組織では、人(のスキルや頑張り)がスケープゴートにされがちですが、頑張れない何か＝相性とかミスマッチが原因、というのは多々ある。

相性＝“フィット”を主観のまま放置せず、客観的レンズ＝信頼できる診断ツールで分析してみると気づきやヒント満載。早速、自己分析をやってみた↓

ワタクシの16Personalities(マイヤーズ・ブルックス)やエネアグラムなどの診断結果と所感はこちら→「[社長の反省会](#)」[🔗Link](#)

### 表紙の 4タイプ・ マトリックスの見方：



#### 〈ヨコ軸〉 内向～外向的の軸：

これは比較的分かりやすい

- **内向型**：考えてから動く、しゃべるより先に書く人
- **外向型**：動きながら考える、書くより先にしゃべる人

#### 〈タテ軸〉 Task～Peopleの軸：

人懐っこい営業が実はTask型だったりするので、とても分かりにくい

- **Task型**：Task最優先で走るの速い  
(けど、周りについてこれない)
- **People型**：人に合わせて動くので、人はついてくる  
(けど、遅い)

#### 4タイプ分類：



さてさて、“Which type are you, **あなたは何型ですか?**”

血液型みたい・笑

## 組み合わせの妙、相対性／比較優位 (皆で“わかって”補完)：

---

フィットのよくない組織あるある。僕もよくミスるのは、Collaborator型に(もっと適任のDirector型がいるにも関わらず)いきなり開発リーダーを任せたり、「Task型ばかりのチームでは、その中でいちばんPeople寄り」が“羊飼役”という鉄則を忘れてたり。完全なフィットはあり得ないので、僕を筆頭に今いる人員の中での、**比較優位を活かした、より良い・フィット**を追求するしかない。組み合わせの妙は理想だけど、レアケース。むしろ、皆で**わかって補完し合う**のが、現実的なフィット論。

わかって補完し合う。わかってやる、について：[🔗 Link](#)

## 人と組織のフィットがちょうどよい、を 諸葛亮の言葉で：

---

「**適材適所**をこころがけること、諸葛亮はそう自分にいきかせ(中略)、**適所にすえられた人は、上から指図を与えなくても、おのずと動いてくれる。**」

[宮城谷昌光の「諸葛亮」(日本経済新聞出版)]

そんな孔明の「**泣いて馬謖を斬る**」は、(決めるのが仕事じゃない)アイデアマンな馬謖を、いきなり(決断が連続する)大軍の将にし大敗したミスマッチ事案[街亭の戦い]。

約1800年前、諸葛亮孔明も、人と組織のフィットに悩みミスりながら、適材適所と人財発掘に目覚めていった訳です。

2025年、岡畑興産は、**人や組織の強み弱みを自覚し**、その相性とフィットに、今まで以上に力を入れます。

**人と組織のフィットが“今ちょうど”よい**(シン・本社もきつと調子良い)、岡畑興産をよろしくお願いします！

---

## ■ 編集後記

### 二つのメッセージ

(社内報Gazette2024年12月号より転載)

2024年も終わろうとしています。毎年、毎年、平和を祈りつつ過ごすクリスマスシーズンですが、その思いは叶うことなく、今年も政争、戦争、自然災害に明け暮れた年でした。

12月10日、ノーベル平和賞の授賞式がノルウェーの首都オスロで行われ、日本被団協の田中熙巳さんは自らの被爆体験を交え「核兵器の保有と使用を前提とする核抑止論ではなく、核兵器は一発たりとも持つてはいけないうのが原爆被害者の心からの願いであります。想像してみてください。直ちに発射できる核弾頭が4000発もあるということ。広島や長崎で起こったことの数百倍、数千倍の被害が直ちに現出することがあるということ。みなさんがいつ被害者になってもおかしくない、あるいは、加害者になるかもしれない状況がございます。ですから、核兵器をなくしていくためにどうしたらいいか、世界中のみなさんと共に話し合い、求めていただきたいと思うのであります」と世界に向かってメッセージを発しました。時にはつまりながらもゆっくりとつむぐその言葉は、どんな雄弁な政治家のそれよりも胸に響きました。

今年もう一つ印象に残ったスピーチがあります。それは5月24日、米ハーヴァード大学の卒業式で首席卒業生シュルティ・クマールさんが行った“The Power of Not Knowing”です。

クマールさんは、ネブラスカ大平原のトウモロコシ畑でインドからの移民の娘として生まれ育ち、一族で初の大学生となりました。両親に大学の入学願書の書き方を尋ねた時にかえって来た言葉が“I don't know.”だったそうです。科学史(History of Science)という学問の存在も知らなかった少女は大学で多くを学び科学史で首席卒業生となりました。

クマールさんは“I don't know.”は決して恥ずべきことではなく、共感、謙虚さ、学ぶ意欲の空間を生み出すもの。uncertainty(不確実性)はuncomfortable(不快)ではあるけれど、その中に飛び込み、耳を傾け、学ぶことが大切であると話します。また、日本の大学では絶対にあり得ないと思いますが、スピーチの中でパレスチナ支持のデモを続けていた学生13人が卒業できなかったことに触れ、キャンパスでの表現の自由や市民的不服従を認めない大学当局の不寛容に私は深く失望している—Harvard, do you hear us? と声をあげ、大きな拍手に包まれました。

多くの学生が卒業式をボイコットし退出する中、クマールさんはEmily Dickinsonの“Not knowing when the Dawn will come, I open every door”という言葉でスピーチを締め括りました。

May Peace, Joy, Hope and Happiness be yours during the Holiday Season and throughout the New Year.

(kiki)

# 岡畑興産は 2025年も、駆け抜けます!

ニュースレター バックナンバーはこちら



---

岡畑興産株式会社 ニュースレター／不定期発行  
2024-2025年 年末年始号  
発行：岡畑 典裕

岡畑興産株式会社

大阪府大阪市中央区島之内1-5-6  
TEL：06-6251-8252 FAX：06-6251-8278

Okahata  
OKAHATA&CO.,LTD

OKAHATA NEWS LETTER  
2024→2025/ Issue 039

© 2024 オカハタとアイデアと